



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月31日

上場会社名 日本食品化工株式会社 上場取引所 東
コード番号 2892 URL <https://www.nisshoku.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若木 孝優
問合せ先責任者 (役職名) 経理部経理課長 (氏名) 小曾根 仁 TEL 0545-52-3181
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	17,581	2.3	1,039	33.0	1,065	19.2	729	14.8
2026年3月期第1四半期	17,194	3.6	781	21.9	894	9.5	634	11.2

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 629百万円 (△5.2%) 2026年3月期第1四半期 663百万円 (△14.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	151.68	—
2026年3月期第1四半期	129.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	51,288	30,195	58.9
2026年3月期	50,656	30,186	59.6

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 30,195百万円 2026年3月期 30,186百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	70.00	—	75.00	145.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	75.00	—	75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,500	4.0	1,900	51.8	2,000	27.5	1,500	28.3	316.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	4,942,868株	2026年3月期	4,942,868株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	166,740株	2026年3月期	102,040株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	4,807,278株	2026年3月期1Q	4,918,341株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善や賃上げの進展を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物価高の長期化による個人消費への影響や、変動する国際情勢への懸念などから、依然として先行きは極めて不透明な状況となりました。

原料とうもろこしのシカゴ相場は、期初1ブッシェル当たり454セント台で始まりましたが、米国コーンベルトでの良好な生育環境や南米の豊作見通しを背景に下落し、期中平均では445セント台、第1四半期末時点では412セント台となりました。

WTI原油相場は、期初1バレル当たり100ドル台で始まりましたが、米国とイランの停戦合意を受けた中東地域からの原油供給正常化への期待を背景に下落し、期中平均では92ドル台、第1四半期末時点では69ドル台となりました。

米国から日本までの穀物海上運賃は、期初1トン当たり57ドル台で始まりましたが、中東情勢の緊迫化による船舶燃料油価格の上昇や、パナマ運河の滞船増加に伴う傭船料の上昇を背景に、期中平均では64ドル台、第1四半期末時点では63ドル台となりました。

為替相場は、期初1ドル当たり158円台で始まりましたが、6月の日銀金融政策決定会合で政策金利が1.00%へ引き上げられたものの、日米金利差の高止まりを背景にドル買い・円売りが優勢となり、期中平均では159円台、第1四半期末時点では162円台となりました。

これらの相場変動により、前年同期比では、原料とうもろこしのシカゴ相場は下落したものの、為替相場の円安進行及び海上運賃の上昇により、原料とうもろこしの輸入価格は上昇し、原料調達コストは増加しました。

販売面では、大型連休期間中の需要増加に加え、外食産業向け需要の回復を背景として、食品用澱粉及び糖化品の販売は概ね堅調に推移しました。一方、製紙会社向け澱粉販売は、新聞や雑誌のデジタル化の進展に伴う需要減少の影響を受け、販売数量が減少しましたが、副産物を含む全体の売上高は前年同期を上回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は175億8千万円（前年同期比2.3%増）、営業利益は10億3千万円（同33.0%増）、経常利益は10億6千万円（同19.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億2千万円（同14.8%増）となりました。

次に、各部門の販売概況は以下のとおりであります。

（澱粉部門）

澱粉部門は、製紙会社向け澱粉の販売数量が減少したものの、米菓市場向け製品の販売増加に加え、外食産業向け及び加工食品向け食品用澱粉の販売が堅調に推移したことから、売上高は35億4千万円（前年同期比2.1%増）となりました。

（糖化品部門）

糖化品部門は、外食産業向け業務用製品を中心に需要回復が見られたものの、例年に比べ気温が低めに推移したことに加え、物価高を背景とした節約志向の高まりにより飲料向け販売が伸び悩み、売上高は112億6千万円（同0.3%減）となりました。

（ファインケミカル部門）

ファインケミカル部門は、国内局方市場向け製品の販売数量が減少したものの、一部の高付加価値製品の販売が好調に推移したことから、売上高は6億3千万円（同1.4%増）となりました。

（副産物部門）

副産物部門は、主製品の出荷増加に伴い発生量が増加したことに加え、一部製品の販売価格が前年同期を上回ったことから、売上高は21億3千万円（同19.1%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は512億8千万円となり、前連結会計年度末と比較して6億3千万円の増加となりました。その主な要因は、売掛金が21億4千万円増加したこと等によるものです。負債合計については210億9千万円となり、前連結会計年度末と比較して6億2千万円増加となりました。その主な要因は、短期借入金が30億円増加したこと等によるものです。また、純資産合計は301億9千万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して0.7ポイント減少し、58.9%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年4月30日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	338	261
売掛金	13,042	15,186
電子記録債権	1,490	2,036
商品及び製品	4,684	4,615
仕掛品	3,380	3,350
原材料及び貯蔵品	4,695	4,043
その他	1,477	868
貸倒引当金	△3	△5
流動資産合計	29,106	30,356
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,024	3,970
機械装置及び運搬具（純額）	8,135	7,801
土地	1,262	1,262
リース資産（純額）	173	157
建設仮勘定	1,110	984
その他（純額）	195	185
有形固定資産合計	14,901	14,361
無形固定資産	471	450
投資その他の資産		
投資有価証券	5,038	5,081
繰延税金資産	1,016	915
その他	435	435
貸倒引当金	△313	△313
投資その他の資産合計	6,176	6,119
固定資産合計	21,549	20,931
資産合計	50,656	51,288

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,202	1,278
短期借入金	8,000	11,000
未払金	3,449	3,312
未払法人税等	487	199
賞与引当金	1,235	307
役員賞与引当金	9	5
その他	594	874
流動負債合計	15,978	16,977
固定負債		
役員株式報酬引当金	16	20
退職給付に係る負債	3,660	3,629
資産除去債務	144	144
その他	669	320
固定負債合計	4,491	4,114
負債合計	20,470	21,092
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,600	1,600
資本剰余金	327	327
利益剰余金	26,198	26,562
自己株式	△379	△634
株主資本合計	27,746	27,856
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44	43
繰延ヘッジ損益	500	405
為替換算調整勘定	1,433	1,453
退職給付に係る調整累計額	460	437
その他の包括利益累計額合計	2,439	2,339
純資産合計	30,186	30,195
負債純資産合計	50,656	51,288

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	17,194	17,581
売上原価	14,143	14,163
売上総利益	3,050	3,418
販売費及び一般管理費	2,269	2,379
営業利益	781	1,039
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
持分法による投資利益	119	26
受取ロイヤリティー	33	32
為替差益	—	0
その他	17	6
営業外収益合計	171	67
営業外費用		
支払利息	25	31
固定資産除却損	25	7
為替差損	4	—
貸倒引当金繰入額	0	—
その他	3	3
営業外費用合計	58	41
経常利益	894	1,065
特別損失		
投資有価証券評価損	4	—
特別損失合計	4	—
税金等調整前四半期純利益	889	1,065
法人税、住民税及び事業税	199	180
法人税等調整額	54	155
法人税等合計	254	336
四半期純利益	634	729
親会社株主に帰属する四半期純利益	634	729

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	634	729
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	△1
繰延ヘッジ損益	△13	△95
退職給付に係る調整額	△0	△23
持分法適用会社に対する持分相当額	44	19
その他の包括利益合計	28	△99
四半期包括利益	663	629
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	663	629

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、とうもろこし等を原料とした澱粉、糖化品、ファインケミカル、副産物の製造及び販売を事業内容としており、とうもろこし等加工事業の単一セグメントであります。そのため、セグメント情報については記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	748百万円	691百万円